

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公開番号】特開2016-226278(P2016-226278A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-106538(P2016-106538)

【国際特許分類】

H 02 K 3/50 (2006.01)

H 02 K 3/38 (2006.01)

【F I】

H 02 K 3/50 A

H 02 K 3/38 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月27日(2019.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガイド部材本体と、

前記ガイド部材本体の上面に設けられる複数の隔壁と、

前記隔壁の内側から突出して形成される振動防止パターン；と

前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも1つ以上備えることを特徴とする、モータ用ガイド部材。

【請求項2】

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記隔壁の内側で相互対向する位置に配置され、少なくとも一対以上を含むことを特徴とする、請求項1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項3】

前記振動防止パターンは、

前記ガイド溝の全幅dの1/3d以下の幅を有することを特徴とする、請求項1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項4】

前記傾斜部の傾斜角が鋭角であることを特徴とする、請求項1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項5】

前記振動防止パターンの突出部の尖部がラウンド構造であることを特徴とする、請求項1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項6】

前記振動防止パターンが弾性部材であることを特徴とする、請求項1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項7】

前記振動防止パターンの一端は前記隔壁の内側と接触し、

前記振動防止パターンの他端は前記隔壁の内側と離隔されることを特徴とする、請求項

1に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項8】

前記他端は前記ガイド溝の深さ方向に行くほど離隔部の幅が広くなることを特徴とする、請求項7に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項9】

複数のトゥース(tooth)を有するステータコア；

前記ステータコアの前記トゥースに巻線される複数のコイル；と

前記複数のコイルが配置されるガイド部材を含み、

前記ガイド部材はガイド部材本体、前記ガイド部材本体の上面に配置される複数の隔壁、前記隔壁の内側から突出形成される振動防止パターン及び前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも1つ以上備え、

前記コイルは、前記ガイド溝内に配置されることを特徴とする、モーターのステータ。

【請求項10】

ハウジングと、

前記モータハウジング内側に設けられるステータと、

前記ステータの内側に回転可能に設けられるロータを含み、

前記ステータは、複数のトゥース(tooth)を有するステータコアと、前記ステータコアの前記トゥースに巻線される複数のコイルと、前記複数のコイルが配置されるガイド部材を含み、

前記ガイド部材はガイド部材本体、前記ガイド部材本体の上面に配置される複数の隔壁、前記隔壁の内側から突出形成される振動防止パターン及び前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも1つ以上備え、

前記コイルは、前記ガイド溝内に配置されることを特徴とする、モーター。